

大坪地区

第1回

家読フェスティバル

3月2日、第1回大坪地区家読フェスティバルが、大坪公民館で開催され、約130人が参加しました。

これは、家庭教育力の向上や、家族の絆を深めることを目的とした、市内で広がっている家読運動に、今後、大坪地区も地域ぐるみで取り組んでいこうと開かれたものです。

フェスティバルでは、大坪保育園児が、絵本『はらへこあおむし』の創作パフォーマンスを披露し、大坪小学校読み語りボランティア『おはなしや』が、タペストリー絵本の読み語りを行いました。また、家読運動先進地の松浦町からは、小学校の読み聞かせグループ『おはなしとつくくん』が特別出演し、まき絵芝居を上演しました。これらの趣向を凝らした発表に、会場は拍手や笑い声に包まれ、大きな盛り上がりを見せました。

今後は、この大会を契機に、家読を中心とした読書の輪が、地域に根ざしながら広がっていくことが期待されます。



↑『おはやしや』が、タペストリー絵本の世界を工夫を凝らして表現しました



広がっています！
地域の取り組み
(大坪地区・黒川町)

黒川町

『家読のすすめ』発表会

3月2日、黒川公民館で、黒川町『家読のすすめ』発表会が開催され、多くの町民が参加しました。

この日は、園児、小・中学生の多読者表彰が行われたほか、黒川小学校PTAによる、大雨洪水警報発令中にもか



↑『おむすびころりん』の劇を披露するたんぼぼ保育園児たち

かわらず取り組んだ図書室リニユール大作戦や、中学生による読書感想文、園児によるおはなし劇など読書に関する活動が報告されました。また、基調講演が行われ、講師を務めた武雄市図書館長の杉原豊秋さんは、図書館の活用方法や、子どもたちには読書をするための時間の作り方をなどを説明。また、「親自身が、本を読んで感動したことなどを家族で話し、家族が同じ時間を共有することが必要」と読書や家庭での親子の交流の大切さなどを伝えていました。



↑読書や家庭教育の大切さなどを語る杉原さん

郷土の文化財

文化財展示施設①

伊万里市歴史民俗資料館

〜伊万里のことを知ろう！〜

今月から、文化財に触れ、伊万里について深く学ぶことができる施設を紹介します。

伊万里市歴史民俗資料館では、市の歴史や民俗、自然に関する貴重な資料の収集・整理・調査研究を行い、皆さんの郷土に対する理解と認識を深めるため、その資料や調査研究成果を公開・展示しています。資料館では、毎年、市民参加型の『市民所蔵品展』や、体験型の行事も開催しています。常設展では、カブトガ

二の標本や黒曜石、昔のおもちやに触れることができます。伊万里をより詳しく知る機会です。ぜひ来館し、じっくりとご覧ください。

● 観覧料 無料

● 開館時間 午前10時〜午後5時

● 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日〜1月3日)

※このほか、臨時に休館することがあります。

詳しくは、伊万里市歴史民俗資料館(☎271107)へ問い合わせてください。

◆ 問合せ先 生涯学習課 (☎2333186)

